



はくぶつかん

HIRATSUKA CITY MUSEUM VOL.4 NO.5 1979.9.1
平塚市博物館 TNO41



9月の花 ミズキ

実りの秋を迎え、木々のトップを切って、実が色づいてくるのがミズキです。やわらかな果肉は鳥たちの大好物、たくさんの鳥がこの実を食べに集まってきます。果肉に包まれた固いたねは消化されずに糞と一緒に出されるので、鳥によって遠くに運ばれます。

ミズキの熟す頃は、ちょうど南の国へ渡り鳥が旅立つ季節、平塚でもふだん見られない鳥が渡りの途中に立寄っていきます。特にミズキには、エゾビタキ、サメビタキなど多くの種類が実を食べに集まるので、「秋の探鳥はミズキを探せ」という合言葉があるほどです。

秋期特別展

物語り日本名刀展

● 会期 9月20日(木)~10月9日(火)

(会期中の休館日9月24・25日、10月1・8日)

● 会場 平塚市博物館 特別展示室・ホール

● 入場料 大人 200円。

小人(中学生以下)100円。



主催 平塚市博物館

後援 財団法人日本美術刀剣保存協会湘南支部

主な展示物

●重要文化財 越中国 郷義弘 鎌倉末期

古来より「郷と化物は見たことない」といわれるもので、在銘正真物が少ない大名匠で、正宗同様各大名家には、なくてはならないとまでいわれて重視されて来たもので、名物指定も数口現存している。本作は「名物松井郷」と呼ばれ、その名の由来は、「細川家の松井佐渡守所持」からくるもので、後、紀州徳川家へ伝えられた。

●重要刀剣 伯耆国 安網 平安時代

平安の昔、源頼光が大江山で酒願童子を退治したものの太刀が、この安網同作のもので、本料は、世に「童子切安網」と呼ばれ、現在国宝に指定されている。

など、重要文化財四振、重要美術品四振、重要刀剣七振、県重要文化財二振を含む40数点を展示する。

9月の行事

●体験学習シリーズ35

縄文土器をつくろう

9月13日(木)・20日(木)・21日(金)



●自然観察会

大山に秋の自然をたずねて

9月2日(日) 午前8時～午後5時。

●星を見る会

月食を見よう

9月6日(木) 午後6時～8時。

10月の行事

●星を見る会

月をみよう

日時 10月27日(土) 午後5時～7時。

申し込み 10月20日(木)までに往復ハガキで。多数の場合は抽選で30名。

●中学生社会科作品展

日時 9月28日～10月2日。

会場 科学教室

●中学生理科作品展

日時 9月14日～18日。

会場 科学教室

研究発表会 9月15日。於講堂。

●行事の申し込みについて

各行事(参加自由のものを除く)に参加を希望する方は、往復ハガキに必ず住所・氏名・年令(学年)・電話、さらに希望行事名を明記のうえ、しめきり日までに博物館へ着くようお送りください。博物館の受付で申し込む場合は返信用ハガキをご用意ください。電話だけの申し込みは受けません。行事参加希望者が定員をこえた場合には、抽選となります。



博物館サマーセミナーの記録

平塚市博物館では、野外で行なう教育普及活動として、準備室当時から月1回、実施していた自然観察会。その実施内容により時として野外で実施することもある体験学習。さらに、毎月1回行なわれている星を見る会などがある。これら野外活動は多くの場合、実施事業内容により、それぞれの担当学芸員が立案・企画し、実施にうつされるもので、各行事の関連性は少なく独自性の強いものである。

市立名古屋科学館、1976年、「科学館紀要 611」に『天文クラブと野外天体観測実習指導』の5年間に亘る実感が山田卓・北原政子の両氏によって具体的に紹介されている。

この両氏の報告等がキッカケとなり、天文担当学芸員より、従来、実施している星を見る会を、年1回だけ宿泊による天文観測の機会が作れたならという考え方が出された。

こうした考え方を受けて、宿泊のともなう野外活動を今後の活動日程に組み込むことが計られ、実施にうつす方向で検討がされた。ただし、宿泊がともなうからには、より多彩な行事を同時に実施することによって、充実したものにするための方策がとられ、自然観察会・体験学習・星を見る会をカリキュラムの一環に加え実施することになった。そして、その実施時期は夏休み期間中とされ、第1回の博物館サマーセミナーが生まれたのである。

博物館サマーセミナーは、当初、8月15日・8月16日の1泊2日が予定された。しかし、16日が市内小・中学校の大半が登校日にあると予想されたため、急換、14日・15日に変更され、実施場所は、青少年や青少年育成関係指導者の宿泊研修施設等に利用されている市施設、「七国荘」が選ばれた。この七国荘は、市内土屋に位置し、土屋は、自然観察会などの実施場所としてすでに数回にわたり利用されている場所でもあった。参加予定人員は、30名を限ることとし、小学5年以上中学3年以下を対象として募集した。ところが、応募者は、全部で80名を超えたため、予定人員の増員にせまられ、セミナーが、第1回目の企画であり、不慣れからくる不測の事態を極力防止する意味からも、最大増員を6名とし、3

6名の参加者を抽選によって決定した。



●引率

引率者は、各カリキュラム担当学芸員4名(したがって1泊2日の日程に4つのカリキュラムを設けた。)指導補助者として2名、さらに、4名のボランティアの総勢10名が引率することになった。

●事前打合せ

8月10日に参加の最終把握を行う意味も含めて事前打合せを午前10時より行う。

当日は、日程表・持物・服装・諸注意事項を事前にプリントし、参加者各自に2部ずつ渡す。(1部は本人。1部は家庭の控。)さらに、当日参加者名簿を渡し班分け・班長の決定を行い、最後に参加者全員の自己紹介を行い解散。

●日程

参加者は、9時30分、駅に集合。駅よりバスで七国荘到着(11時)、荷物整理・諸注意のうち昼食(持参)12時45分、カリキュラム①、2時30分まで、3時からカリキュラム②、4時45分まで、5時から各班別に飯ごうすい飯。6時から夕食。7時30分からキャンプファイヤー。その間、希望者は入浴を行う。8時30分からカリキュラム③、9時45分まで。そして10時就寝で14日の日程を終了する。15日、朝、6時全員起床。6時30分、七国荘周辺の朝の散歩。7時30分、朝食。8時30分カリキュラム④、11時跡片付け。12時昼食。1時、七国荘出発帰路。2時駅集合場所にて解散。

●カリキュラム

カリキュラム① 七国荘周辺に生育する代表的な植物のスケッチー担当浜口(生物)

カリキュラム② 七国荘周辺の地形を地図によってよみとっていくー担当森(地質)

カリキュラム③ 天体望遠鏡の使い方と流星観測ー担当(天文)

以上が14日の日程。

カリキュラム④ 前日の行動によって、七国荘周辺の植生・地形・村の様子などをまとめる意味で各班ごとにイラストマップを作成ー担当土井(歴史)

以上が15日の日程。

カリキュラム①・②・③については、パンフレット作成。B5版12ページ

●器材関係

望遠鏡、各種7台。磁石、ハンドマイク。雨天の場合を想定してスライドを用意する。

最後に、博物館サマーセミナー参加者全員にセミナーの印象記を葉書に書いてもらい博物館へ送ってもらう手筈をとりました。送られてきた葉書を数枚紹介し、博物館サマーセミナーの記録のまとめとします。

小学5年生(女)：わたしはサマーセミナーへ行ってよかったと思います。それは、知らない人と友達になれたし、いろいろおぼえたのです。来年はきかんを長くしてみんなで行う観察や仕事などの時間を長くしてほしいのです。

小学6年生(女)：私は、サマーセミナーに参加して、新しい友達をたくさん作りました。崇善小学校の人・中学生・年下の子まで、今まで、まるっきり知らなかった人とおしゃべり出来るようになり、気楽にすごせとても楽しい2日間でした。こうゆう行事があればとても楽しい夏休みがすごせそうです。

中学1年生(女)：友達が出来てよかった。植物の種類がたくさんおぼえられた。地図見て歩く時の見方が良くわかった。1泊だけでは、あっと言うまに終わってしまったので、2泊ぐらいがいいと思う。

中学3年生(女)：全体的に楽しく、色々な事が勉強できたかと思っていたが、帰ってから復習してみると、以外にうまくまとめられない。あと同じ年の人が少なかったこと。中学生以上にするとか小学6年までにするとかして、学年に合った研究をするとよいと思う。

中学2年生(女)：とつてもおもしろかった。でもできるならもう少し同じ学年の人がいたらなあーと思った。

小学6年生(女)：あの楽しかったサマーセミナーは、すぐ終わってしまいましたが、まだ、自分の目には、七国荘周辺の風景が残っています。途中で答えがわからなくなってしまったオリエンテーリング。雑木林でいろんな木を見つけようとしたけど6種類しか見付けられなかった事。

小学6年生(男)：来年もサマーセミナーをやりたい。今年は1泊2日でしたが、来年、もしやるのでしたら3日どまりにしてほしいことです。なぜかという、今年は1泊2日しかなくて、ばたばたおちつかなくて、仕事もあまりできないからです。

小学6年生(男)：植物かんさつをやっている時は、よくもこんなにみやくがはつきり出るなーなどと思いました。オリエンテーリングをやっているまよってしまつてとてもくやしかった。

小学5年生(男)：初めてのオリエンテーリング初めての飯ごうすいはん。ぼくにとってみんな初めての体験でした。新しい友達と過した2日間は、ぼくにはいつまでも忘れられない思い出になりました。

中学3年生(男)：だれ1人けがもなく、1人も欠席者がなく全員参加となつて、やっぱり「博物館」と思った。これからもこういうことをどんどんやってください。来年は参加はできませんが応援します。今年とてもいい思い出をつくりました。4つのカリキュラムやイラストの地図やキャンプファイヤーなどいろいろ思い出があります。